

普及項目	養殖
漁業種類等	養殖業
対象魚類	ノリ
対象海域	八代海

ノリ養殖指導

県南広域本部水産課・池崎 公亮、川崎 信司

【背景・目的・目標（指標）】

八代海のノリ養殖は、生産期の高水温化、色落ちの早期発生等により、生産枚数及び生産金額は減少傾向が継続し、経営体数は令和3年度（2021年度）から1経営体のみとなった。

この1経営体を対象に、芽付け検鏡、環境測定、ノリ葉体の測定、検鏡等を実施し、得られた情報を生産者に迅速に提供し、併せて適切な指導を行うことを目的とした。

【普及の内容・特徴】

（1）採苗指導

実施期間：令和5年（2023年）10月29～31日

内容：採苗中の芽数や芽傷み等の検鏡結果の情報提供及び養殖指導を行った。

（2）養殖状況調査

実施期間及び調査定点：令和5年（2023年）11月～翌年3月のうち週1回、調査定点は図1に示す。

内容：県漁連と共同でノリ養殖場を巡回し、環境測定（水温、塩分）を行うとともに、ノリ葉体を採集し葉長の測定及び病害等の検鏡を行った。

【成果・活用】

採苗中のノリ網の検鏡結果を迅速に生産者に提供し、採苗は3日間で順調に終了した。

調査結果を「ノリ養殖速報」として生産者及び関係漁協へ合計17回情報提供を行い、併せて養殖指導を実施した。今期は栄養塩不足が継続したため、生産できないまま、漁期が終了した。

【達成度自己評価】

4 目標（指標）はほぼ達成できた（76～100%）

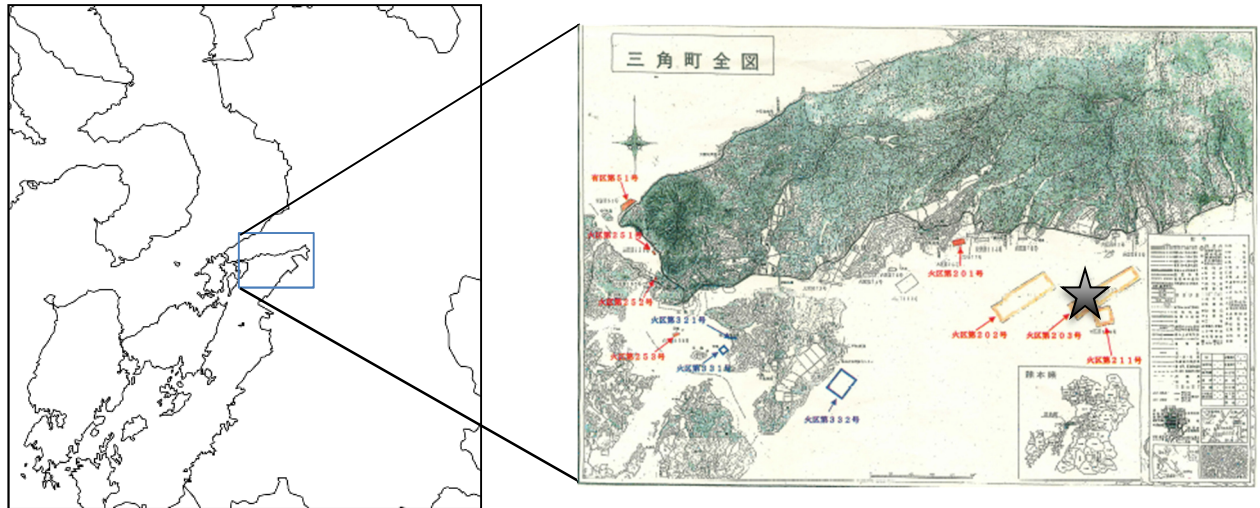


図1 養殖状況調査定点図（★地点）



図2 調査時の色落ちした葉体の状況



図3 調査時の色落ちした葉体の状況



図4 調査時のサンプリングの様子



図5 調査時のプランクトン濃縮状況